



積極的に
前へ!!

進もう、前へ
歩もう、共に
2023年
総合労働条件改善闘争

第109回 中央委員会報告

委員長
あいさつ
要旨

積極的な「人への投資」を実現し、 社会へ強いメッセージを

2023年総合労働条件改善闘争について

私たちは2014年より、生活の安定を図り、個人消費を喚起し経済を好循環させることを要求の根拠に掲げ、9年連続で賃金水準の改善を実現してきた。一方で、日本の賃金水準はOECDの中でも依然として低位にある。昨年以来の急激な為替変動や物価の急騰は私たちの生活に大きな影響を及ぼし、実質賃金はさらに低下している。労働組合として、この課題を真摯に受け止め、物価上昇をふまえた水準改善を実現し、組織内外へ波及させていかなくてはならない。

交渉は賃金水準改善のみならず、一時金、労働協約関連など多岐にわたる。職場環境の整備や諸制度の拡充、働き方改革、教育、安全衛生など、誰もが能力を最大限発揮できるための人に関わる諸施策すべてが「人への投資」だと考える。今次交渉は従来以上に社会的責任を果たさなくてはならない。産業や企業の現状と課題、現場の実態を共有し、労使協議を強力に展開していく。そして『生活不安、雇用不安、将来不安』の払拭と、電機産業の魅力と働く者のモチベーション向上に向けて、積極的な「人への投資」を実現し、社会へ強いメッセージを発信する交渉にしたい。



中央執行委員長 神保 政史

政策・制度実現に向けて

世界や国内の情勢を見ると、深刻な課題が山積しており、政治が果たすべき役割と重要性を強く感じている。信頼できる健全な政治がなされないと、日本の将来展望は開けない。そのため、現場の声を届ける議員を国会、地方議会に送り込まなくてはならない。

組織内国会議員「浅野さとし」は、経済安全保障、GX・DX、エネルギー問題など、電機産業や国民生活に関わる重要政策に積極的に取り組んでいる。

4月には第20回統一地方自治体選挙が実施される。電機連合が掲げる政策・制度の実現と、各地域における諸課題の解決に向けて、擁立組織・当該地協と連携し取り組みを強化していく。

新加盟組合を歓迎 闘争方針決まる



電機連合は、2023年1月26日に第109回中央委員会を東京の有楽町朝日ホールで開催しました。

第1号議案「加盟組合承認等に関する件」では、2組合の本部直加盟が承認されました。また、一括加盟組織においても未組織企業の組織拡大や新規加盟により多くの仲間が加わりました。

第2号議案「2023年総合労働条件改善闘争に関する件」では、本部提案に対し7名の中央委員から賛成の立場で意見・要望をいただき、本部答弁ののち圧倒的多数で承認されました。



開会に先立ち、長年電機連合でご活躍された、故 内田幸雄さん(電機連合HD専務取締役)のご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げました。



議長団

藤森 中央委員
ファンナップ労働組合

長田 中央委員
三菱電機労連

片石 中央委員
明電舎労働組合



金属労協
金子 晃浩 議長



国民民主党
玉木 雄一郎 代表



電機連合政治顧問
浅野 さとし
衆議院議員



電機連合政治顧問
矢田 わか子
政治アドバイザー

来賓の方々

第2号議案 2023年総合労働条件改善闘争に関する件

中央委員からの意見・要望



浅田 和宏 中央委員(三菱電機労連)

国内ではこの30年間、景気が回復しても、労働力不足に直面しても、平均実質賃金はほとんど上がらなかった。さまざまな原因があると思うが、人件費をコストと捉えるこれまでの経営に最大原因があるのではないかと。電機産業としても、人に投資する経営への転換を急がなければ、労働力人口が減少する中、人材の確保すらできない可能性も出てくる。政府や経済界からも賃上げに積極的な発言が相次いでいるが、この姿勢については好意的に捉えていきたい。

今次闘争では付加価値と労働の価値を適正に評価をし、現役世代が経験したことのない物価上昇へ対応するべく、サプライチェーン全体で大幅な賃金水準改善を実現しなければならない。

荒井 聡 中央委員(東芝グループ連合)

2014年からの継続した賃上げの取り組みに加えて、今年の特徴である物価高にも対応してほしいという組合員の期待感は大い。これまで電機連合が電機産業の魅力を向上させ、経済の好循環を生み出すために努力してきた結果が今年の期待につながったと考える。だからこそ、今次闘争では組合員の期待に応えていかなければならない。

すべての加盟組合、組合員にわれわれの思いを伝えるべく結果にこだわり、波及効果の最大化につなげる。



半沢 美幸 中央委員(日立グループ連合)

賃金に注目が集まっている中、経済の好循環に向けて賃金引き上げの取り組みを継続的に行ってきた私たちはマインドをさらに上げなければならない。

マクロで見た賃金が30年間に上がらない理由について二つ触れる。一つ目は、企業全体としてデフレマインドから抜け出せず、賃金をコストとみなす発想があること。賃金が未来につながる人への投資であることを再認識し、今一度社会に目を向けた取り組みが必要である。また、物価高騰により組合員の生活も大変苦しくなっており、組合員が納得できる結果につなげていきたい。

二つ目は、雇用形態や企業格差に起因するもの。労働組合の組織率は全体の約17%にすぎず、賃金引き上げの結果を全体に波及させることが重要となる。特に特定最低賃金は、産業界の未組織労働者の賃金を支え、私たちの交渉結果の波及効果を広げるものと考えている。交渉の中でも経営側への理解を促していきたい。

また、政治の日常化を進め、統一地方選挙、いつか来る衆議院議員選挙、さらにその先に皆でつなげていきたい。



松尾 剛志 中央委員(全富士通労連)

日本全体で賃上げの機運が高まっており、経団連の報告の中でも、賃金引き上げのモメンタムの維持・強化に向けた積極的な対応を呼びかけていくと示されている。しかし同報告では、月別賃金以外の手当などを含めた対応であり、賃金の引き上げを必ずしも容認しているものではない。地政学的リスクや円安など、取り巻く環境は不透明であることや、今次闘争は1998年闘争以来の高い要求となることから、難しい交渉になると認識している。その中で、電機連合全体として賃金水準の改善を図るためには、各機関会議での情報共有、情報交換だけでなく、例年以上に電機連合本部と各加盟組合、加盟組合間のコミュニケーションを深めていかなければならない。電機連合本部のリーダーシップの発揮をお願いするとともに、中闘組合の一員として、その役割と責任を果たしていく。



第2号議案の本部提案に対し、7名から意見・要望をいただいた。



福澤 邦治 中央委員(パナソニックグループ労連)

デフレマインドの払拭だけでなく、日本の「より良いものをより安く」という常識を社会全体で変えていく必要がある。その本質は私たちの労働の価値を適正な価格にすることであり、グループ内外でも適正な取引価格転嫁を行い、大手がリーダーシップを取って、共存共栄できるよう、労働組合として社会的責任を果たす。

ジョブディスクリプション型人材マネジメントも大きな議題であり、次代につながる処遇や人への投資のあり方の議論を推進しなければならない。統一闘争として全体がまとまって経営側に迫り、労使が共通認識に立ち、最後まで要求に近づける交渉を全力で進める。電機連合には要求水準、中小組合への波及、適正な価格転嫁を経営に訴え、私たちの後ろ盾となる産別労使交渉をお願いする。



黒川 達也 中央委員(MEMC労働組合)

本中央委員会は久々の集合形式であり、時間と空間を共にすることで互いの理解を深め結束を高める機会になった。しかし、コロナ禍によって残念ながら役員同士、特に組織間の交流の機会が減少してしまった。対面での交流は、役員の次世代育成、政治の日常化、組織の求心力に良い影響を及ぼす。加盟組合が対面で一堂に会する場の設置は産別にしかできない。電機連合本部や地協には場の提供につながる機会の創出をお願いする。



塩田 明 中央委員(NECグループ連合)

国際的にみて日本の賃金は低位に推移しており、幅広い産業・職種で人材不足が懸念される。人材を獲得し競争力を高めるために、持続的な賃上げが必要であることは政労使でベクトルが合っているが、

各企業の経営状況に左右されることなく賃上げをするためには、マクロレベルでの目標設定、具体的施策が必要だ。持続的な賃上げの実現を成しえるために、政府が行っている賃上げ支援施策などの活用度合いや効果を検証し、真に効果のある施策が今後も生み出せるサイクルの創出をお願いする。私たちも現場において労使交渉を精力的に進め、日本の賃上げに貢献する。電機連合には産別労使交渉を通じて政府や上部団体への働きかけをお願いする。

本部答弁

中澤 清孝 書記長

▶春季交渉全般について

リーマンショックのあった2008年頃以降、多くの企業が売上など企業業績を伸ばしているが、その要因の一つは組合員の貢献にある。しかし、株主配当金や平均役員給与が伸びている一方で、平均従業員給与は伸びていない。これは組合員への配分が後回しにされていることを意味するのではないかと。また、大手だけでなく中堅・中小へ賃上げを波及させるためには適正な価格転嫁が必要であり、電機連合としても状況把握を進め、産業として課題があればあらゆるチャネルを使って対応したい。組織化されていない方々への波及につながるため特定最低賃金の引き上げにつながる企業内最低賃金の引き上げについても取り組みをお願いする。

今、組合員の生活は物価上昇の影響を受けており、組合員の今次交渉に対する期待は大きい。電機連合本部としても、結果に結びつけられるようしっかりと産別労使交渉に取り組む。

▶情報連携・組織強化について

労働運動を前進し続けるために情報連携を強化したい。各組織においても組織内や、部会、地域といったさまざま場面での情報連携をお願いする。情報連携に欠かせないのがコミュニケーションである。コロナ禍においてオンラインのコミュニケーションが進展したが、対面で会話することで人と人との信頼関係を深めていくことも大切だ。オンラインと対面はそれぞれの良さがあり、場面による使い分けも必要と考える。



本部総括

神保 政史 中央執行委員長

今年に入り賃金改善に対する政労使の状況が一致し始めるなど、次のステージに入ってきたのではないかと感じる。厳しい情勢のときもあったが2014年より私たちは9年連続の賃上げにつなげてきた強みがある。どのような情勢であれ私たちが築き上げてきた労使関係をもとに、積極的に協議を重ねてしっかりと結果につなげていきたい。この機運を絶好のチャンスと捉えて、政労使など、あらゆるチャネルを使い結果に結びつけるとともに、今年限りでなく次年度以降にもつなげていきたい。



第1号議案

加盟組合承認等に関する件

2組合の新規本部直加盟が承認されました。
 また、8組合の一括加盟組織への加盟などが確認され、多くの仲間が加わりました。

新規本部直加盟の皆さん



千葉 文之 会長
 富士フィルムヘルスケアグループ労働組合連合会



奥川 晃宏 委員長
 MMI セミコンダクター労働組合

一括加盟組織へ加盟された皆さん



写真左から

- メルコ・パワー・システムズ労働組合
- パナソニック ハウジングソリューションズ労働組合
- パナソニックエアコン・コールドチェーンユニオン
- パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション労働組合
- シャープNECディスプレイソリューションズ労働組合
- 富士フィルムヘルスケア労働組合(写真は上記参照)
- 富士フィルムヘルスケアシステムズ労働組合
- 富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング労働組合

- 大島 弘充 副委員長
- 平尾 正寛 委員長
- 大平 貴之 委員長
- 中村 勇 委員長
- 百瀬 啓祐 委員長
- 千葉 文之 委員長
- 竹上 英伸 委員長
- 本村 敏昭 委員長



卒業おめでとう

使わなくなったランドセルはありますか?

アフガニスタンの子どもたちにランドセルを贈ろう!

～電機連合SAKURAプロジェクト～
 お子さんの6年間の思い出が詰まったランドセルがアフガニスタンの子どもたちが就学するきっかけに! 詳しくはご所属の労働組合へお問い合わせください。



SAKURAプロジェクトのPR動画



Let's★脳トレーニング

多忙な毎日からちょっと離れて、クイズで一息ついてみませんか?



Go!

難易度



問題

$$\begin{array}{r} 65 \square \square \\ \times 4 \square 1 \\ \hline 65 \square 8 \\ 59 \square 1 2 \\ 26 \square \square \square \\ \hline \square \square 2 \square 8 \square 8 \end{array}$$

答え



計算式のところどころが虫に食われて穴があいています。あいた穴に数字を入れて計算式を完成させ、色マスに入る数字を教えてください。

例

$$\begin{array}{r} \square 4 \\ + 3 \square \\ \hline \square 2 3 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 8 4 \\ + 3 9 \\ \hline 1 2 3 \end{array}$$



- 応募方法 QRか公式サイト(https://www.jeiu.or.jp/)からご応募ください。クイズ応募の際はパスワード[mar24]を入力してください。
- 締め切り 2023年3月24日(金)
- No.1195の答え 6
- 当選者発表 応募総数は、1,325通でした。当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。おめでとうございます。

クイズ正解者の方から抽選でプレゼント



QUOカード 2,000円分 19名様



ファミリーサポート共済

もしもの時の「家族の生活費」をバックアップ!

- 死亡・重度障がい時に年金方式(分割)でお支払い
- 年齢・性別にかかわらずお手頃な一律の掛金
- 加入者全員へ「精神的サポートサービス」もご用意

資料請求・問合せ・ご加入などの手続きは、ご所属の労働組合窓口へどうぞ!

電機連合 福祉共済センター&マックス
<https://kyosai.jeiu.or.jp/>

